

船橋市農業委員会委員の募集状況(令和7年11月4日現在)

1.農業者からの推薦

推薦を受ける者(候補者)								推薦者						
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営 の状況	認定 農業者	推薦 者数	推薦代表者の氏名	性別	年齢	職業	推薦理由	農地利用最適化 推進委員への 推薦
1	武藤 勝浩	男	65	農業	昭和57年3月 昭和57年 平成10年 平成11年 平成24年 平成25年 明治大学農学部農学科卒業 就農 現在に至る 船橋市農業協同組合青年部副部長 千葉県農業士 船橋市農業士等協会入会 東葛飾農業士協会入会 千葉県農業士協会入会 千葉県農業士協会理事 千葉県農業士協会東葛飾支部長	野菜	○	3	高橋 雄一郎	男	54	農業	長年にわたり、地域に根ざした野菜作り、販売、直売を積極的に行っておられます。近隣の方々からの信頼も厚く、指導的役割もこなしておられ、人望も厚い方です。農業委員として最適任者だと思いますので推薦させていただきます。	—
2	齋藤 教子	女	77	農業	昭和41年3月 昭和41年4月 昭和48年2月 昭和48年3月 平成8年7月 平成16年3月 千葉県立千葉商業高等学校卒業 三井信託銀行株式会社入行 三井信託銀行株式会社退行 就農 現在に至る 船橋市農業委員会委員 現在に至る 千葉県女性農業委員の会会長	野菜		3	石山 幸男	男	76	農業	農業委員を8年余り一緒に勤め、船橋農業に対する深い思いと情熱、更に適確な発信力及び実行力に深い敬意を表し推薦します。	—

2.団体又は法人からの推薦

推薦を受ける者(候補者)								推薦者							
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営 の状況	認定 農業者	推薦団 体数	推薦代表団体等 の名称	団体の目的	代表者又は 管理人の氏名	構成員数	構成員たる 資格	推薦理由	農地利用最適化 推進委員への 推薦
1	金子 しのぶ	女	63	農業	昭和57年3月 帝京短期大学家政科卒業 昭和57年4月 本田技研工業株式会社入社 昭和61年7月 本田技研工業株式会社退社 昭和61年9月 就農 現在に至る 令和2年7月 認定農業者 現在に至る 令和3年6月 ちば東葛農業協同組合理事 現在に至る 令和5年7月 船橋市農業委員会委員 現在に至る	野菜	○	1	ちば東葛農業協同組合 西船地区運営委員会	都市農業の振興の為	石井 利周	17	組合員	都市農業の振興の為。	—
2	平野 恵昭	男	61	農業	昭和59年3月 千葉大学園芸学部園芸別科卒業 昭和59年4月 就農 現在に至る 平成29年7月 船橋市農地利用最適化推進委員 平成29年12月 認定農業者 現在に至る 令和5年7月 船橋市農業委員会委員 現在に至る	野菜	○	1	ちば東葛農業協同組合 西船地区運営委員会	都市農業の振興の為	石井 利周	17	組合員	都市農業の振興の為。	—
3	齊藤 義夫	男	64	農業	昭和57年3月 千葉県立農業大学校卒業 昭和58年4月 就農 現在に至る 昭和60年4月 船橋市農業青少年クラブ会長 平成7年4月 船橋市立高根小学校PTA会長 平成18年4月 船橋市消防団第10分団分団長 平成19年4月 認定農業者 現在に至る 平成29年7月 船橋市農地利用最適化推進委員 現在に至る	野菜	○	6	金杉農家組合	地域農業の発展	石井 雅彦	23	地区内に 居住する農家	野菜の栽培に真剣に取り組む姿が見られます。特に人参については、早くから大型トンネルを導入し、最新の機械を取り入れ努力されております。これからの都市農業のあり方を考え貢献する方だと思い推薦いたします。	—
4	積田 小百合	女	57	農業	昭和62年 和洋女子大学短期大学部卒業 平成3年 就農 現在に至る	水稻 野菜 果樹	○	1	小野田地区農家組合	地域農業の発展	玉井 嘉久	27	地区内に 居住する農家	農業の生産、栽培などに力を入れ消費者との関わりを大事に思っている。そして、農政やこれからの地域農業に対する関心もあり前向きである。	—
5	鈴木 克巳	男	63	農業	昭和56年3月 千葉県立鎌ヶ谷高等学校卒業 昭和58年4月 就農 現在に至る 平成27年 千葉県指導農業士	果樹	○	2	馬込農家組合	地域農業の発展	鈴木 光夫	37	地区内に 居住する農家	何事にも最善を尽くす。 地域の農業に一生懸命です。	—

6	鳥光 義生	男	54	農業	平成元年3月 平成元年4月 平成22年	八街学園高等学校卒業 就農 現在に至る 船橋市農業モニター	野菜		4	下宿農家組合	地域農業の発展	小川 晃	13	地区内に 居住する農家	高齢で介護の必要な面倒を見ながら農業を続けてきた真面目な人 です。	—
7	長嶋 雄一	男	49	農業	平成10年3月 平成10年4月 平成31年4月 令和4年10月 令和5年7月	千葉県農業大学校研究科卒業 就農 現在に至る 市川市農業協同組合船橋地区青年部部長 認定農業者 現在に至る 船橋市農業委員会委員 現在に至る	野菜	○	2	三山地区農家組合	地域農業の発展	小川 利之	21	地区内に 居住する農家	長年にわたり農業経営に携わり地域農業の発展に尽力してきた。 農業に関する知識と経験が豊富であり、地区内の農家からの信頼も 厚いことから推薦する。	—
8	井戸 知一	男	63	農業	昭和56年3月 昭和58年3月 昭和58年 令和6年12月	千葉県立薬園台高等学校卒業 千葉県立茂原農業高等学校農業特別専攻科卒業 就農 現在に至る 千葉県指導農業士	野菜 果樹	○	7	三咲中央農家組合	農業経営の発展の為	岡庭 一美	6	組合員	地域農業の発展と農地の保全に精通している優秀な人物。	—
9	藤城 孝義	男	70	農業	昭和49年3月 昭和49年4月 平成18年11月 平成21年3月 平成24年4月 平成29年7月	千葉明德高等学校卒業 就農 現在に至る 認定農業者 現在に至る 市川市農業協同組合理事 船橋市農業委員会委員 船橋市農業委員会委員 現在に至る	野菜	○	4	高根西組農家組合	高根町農家の発展	織戸 文雄	22	農家	現在も農業委員として地域の為に貢献してくれている為、継続して お願いしたい。	—
10	藤平 尚志	男	73	農業	昭和51年3月 昭和51年4月 平成2年8月 平成2年8月 平成19年4月 平成20年5月 平成20年5月 平成29年7月 令和5年7月	早稲田大学商学部卒業 凸版印刷株式会社入社 凸版印刷株式会社退社 株式会社シロキ入社 株式会社シロキ退社 株式会社メビウス印刷顧問 就農 現在に至る 船橋市農地利用最適化推進委員 船橋市農業委員会委員 現在に至る	果樹	○	2	大神保農家組合	地域農業の発展	渡辺 由紀雄	20	地区内に居住 する農家	被推薦人は地域の農業、農家の事情に精通しており、推進委員2 期、農業委員1期にわたり地域計画策定等々地域をリードして地域 の信頼を充分得ており地域農業の先導役として今後の船橋農業の 発展に貢献と活躍が大いに更に期待出来得る人材であることから 船橋市農業委員会委員に強く推薦する。	—
11	宍倉 由紀雄	男	66	農業	昭和58年3月 昭和58年4月 令和2年7月 令和4年4月 令和5年7月	日本大学法学部卒業 就農 現在に至る 船橋市農地利用最適化推進委員 認定農業者 現在に至る 船橋市農業委員会委員 現在に至る	野菜	○	2	前原西農家組合	地域農業の発展	近藤 博	12	地区内に居住 する農家	長年農業に真摯に取り組み、篤農家として知られています。 農家組合活動にも積極的に取り組み、皆の信頼の厚い方です。	—

3.自らの応募

	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営 の状況	認定 農業者	応募理由	農地利用最適化 推進委員への 応募
1	石村 修	男	79歳	無職	昭和53年3月 専修大学大学院法学研究科博士課程公法専攻 単位取得 昭和53年4月 専修大学法学部専任講師 昭和63年 法学博士 平成元年 専修大学法学部教授 平成16年4月 専修大学大学院法務研究科（ロースクール） 教授 公法担当 平成22年 専修大学大学院院長 平成24年5月 法務省 司法試験委員 平成29年 専修大学名誉教授 平成30年 船橋市民大学 まちづくり学部 平成31年 第16期船橋市男女共同参画推進委員会委員 令和2年 千葉県男女共同参画推進委員	—		40年以上大学において、法学（主に公法関連科目）を研究・教授してきた。海外での研究活動・報告も多数行い、法と社会の関係について多面的に研究し、実践活動も行ってきた。 退職後は、自由な立場で執筆活動を行い、弁護士の依頼をうけた「裁判への意見書」を多く書いてきた。他方で、居住する船橋を知るために、各種の活動を行い、介護施設での体 操指導等のボランティア活動も行ってきた。 農業は土地法との関連で興味を持ち、公用地としての性格を持つ農地が、居住する船橋でどのように活かされているかを知り、その運用を確認したかった。退職後、僅かな空間で あるが、家庭菜園らしき空間を作って野菜を作り、これを使った公民館での活動で「男の料理教室」の会長を行っている。いとこが茨城県で有機野菜づくりを行っており、彼から多く の問題があることも聞いています。 都市型農業の問題をしっかりと把握する上でも、この委員会で活動し、船橋の農業の未来を展望していきたい。 年齢は大分上ですが、現在、健康であり、これまでの各種の経験を踏まえた意見を述べていきたい。	—

2	藤家 雅子	女	63	千葉大学 非常勤講師	昭和60年3月 神戸大学法学部卒業 昭和60年4月 国際協力事業団入団 平成2年4月 外務省経済協力局調査計画課出向 平成3年3月 国際協力事業団退団 平成5年4月 産能短期大学非常勤講師 平成10年3月 青山学院大学大学院国際政治経済学研究科 博士課程修了 平成10年4月 青山学院大学国際政治経済学部助手 平成12年4月 拓殖大学国際開発学部助教授 平成15年4月 国際協力銀行「灌漑事業における参加型アプローチの 評価」有識者委員 平成18年9月 ウガンダ国立マケレレ大学大学院農業経済学研究科 客員教授 平成21年1月 千葉大学園芸学部非常勤職員 平成22年4月 千葉大学大学院園芸学研究科特任教授 平成25年4月 農林水産省補助事業「サブサハラ・アフリカにおけるア グリビジネス展開・促進実証モデル事業」有識者委員 令和2年10月 千葉大学大学院園芸学研究科非常勤講師 現在に至る 令和5年7月 船橋市農業委員会委員 現在に至る	—		私は、海外の農業開発に関する研究に携わる中で、どの国においても「農地の配分・利用のあり方」が農業の成果を大きく左右する重要な要因であることを強く感じてまいりました。日本においても、農地や農家数の減少が進む中で、農業の持続的発展には、農業委員会の中心的業務である「農地利用の最適化」が極めて重要な方途であると考えております。 これまで約2年間、農業委員として活動する中で、地域計画に関する各地域の集会や推進委員連絡協議会の傍聴などを通じ、多くの農家の方々の声を直接伺うことに注力してまいりました。船橋市は営農環境の地域差が大きく、地域ごとに課題や農業経営の方向性も多様であることが特徴です。そのため現場の声を丁寧に聞き取り、具体的な課題の改善につなげていくことが重要であると考えております。 これまでの活動をさらに発展させ、今後とも現場との対話を通じて得られる知見を生かし、地域農業の持続的発展に少しでも貢献したいとの思いから応募いたしました。	—
---	-------	---	----	---------------	--	---	--	--	---